

平成24年度

第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

～教育委員会～

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、今年度における教育委員会の基本方針および重点的に取り組む項目を次のとおり定め、着実に推進します。

平成24年4月25日

教育委員会事務部長 酒井 誠

I 基本方針

- 1 子どもたちが、安全で安心して学び活動できる教育環境を確保するため、平成27年度までに全ての学校施設の耐震化完了を目標として耐震補強を進めるとともに、計画的に施設の整備・改修を行い教育環境の向上に努めます。また、社会教育施設やスポーツ施設なども併せて、早期の維持補修や適切かつ効率的な管理に努め、施設の長寿命化を図ります。
- 2 食育を基盤として、確かな学力・豊かな心・たくましい体（知・徳・体）を育む学校教育の推進に努め、子どもたちの「生きる力」を育みます。また、地域との連携による学校給食畑を活用し、地場産食材の使用を促進するとともに、職場体験や見学などの活動をとおり、鯖江市の産業や文化の理解を深め、子どもたちの職業観や勤労観を育てる教育活動を推進します。
- 3 幼児期における子どもたちが、健やかに育ち元気で就学していくために、幼稚園での遊びや家庭との連携をとおり、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の育成、体力増進に努めます。また、小学校への円滑な移行を図るために教育内容の工夫や小学校との交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた幼稚園づくりを推進していきます。
- 4 地域における人間関係の希薄化や核家族の進展などにより地域の教育力や家庭の教育力の低下が問題となっているため、大人と子どもが地域に集いふれあう機会や家族がふれあう機会をつくりながら、社会全体で地域と家庭の教育力が高まるよう取り組みます。また、地域人材の発掘、社会学習成果の地域活用などにより地域における生涯学習を推進します。
- 5 市内の貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、保存処置を講じて後世に引き継いでいく取り組みを実施するとともに、それらを活用して広く周知し、郷土に愛着と誇りや夢を持てる地域の特色あるまちづくりを展開します。また、市民が広く文化芸術に触れる機会を創出するとともに登録博物館であるまなべの館の利用促進を図るほか、将来を担う子どもたちが、日本古来の伝統文化に触れて、豊かな感性や表現力、創造性を育むことができる機会の充実に努めます。

- 6 幼児から高齢者まで、市民各層の日常生活に身近なスポーツ機会を取り入れていくために、年齢に即応したニュースポーツの普及および総合型スポーツクラブやスポーツ少年団の加入促進など、日常的スポーツ活動の推進強化に努めるとともに、全国的な体操競技・駅伝競走などのスポーツイベントの開催を通じてスポーツのまちさばえを発信し、全ての市民が豊かさを実感できる鯖江型の生涯スポーツ社会の実現を推進します。
- 7 文化の館では、市民の学習活動や日常生活を豊かに充実させる身近な生涯学習施設として、市民ニーズに的確に対応した資料を提供し、幼児から高齢者まで豊かな心を育もうとする市民を支援します。また、図書館内に設置された学校図書館支援センターでは、学校図書館の充実のため各小中学校との連携強化を図り、子どもの読書活動支援を推進します。
- 8 高年大学では、これまで積み重ねてきた実績を活かしながらより充実した事業内容への転換を図るため、健康長寿と社会貢献（社会参加）を2本柱とし、健康で充実した生活の支援と大学で培った能力を活かした地域などへの社会貢献活動の支援を行います。また、広く市民の方が参加できる公開講座を開催し、生涯学習の推進に努めます。今年度はIT環境を整備し、受講生自らが高年大学の学習内容や活動を情報発信することで、高年大学の社会貢献を促進します。

II 重点的に取り組む項目と具体的な目標

■ 施設の計画的整備および美化愛護推進事業の実施

- ①小中学校や幼稚園をはじめ社会教育・スポーツ施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化を図ります。
- ②学校（児童生徒を含む）と地域ボランティア、保護者が協働して、学校や幼稚園の軽微な修繕や環境保全活動を実施し、学校等の美化や環境改善に努めます。

①◆ 小中学校の耐震化率	50棟/60棟 83.3%
◆ 豊小学校校舎改築による耐震化（新北校舎建設）	
②◆ 全小中学校、幼稚園で美化愛護推進事業	5回

■ 小中学校における基礎学力の定着と向上

- ①基礎学力の定着と応用力を養うために、児童の学習到達度を適切に把握し、指導の改善工夫等を行うとともに、新聞を活用した授業を推進し、一層の学力向上を目指します。
- ②地域の歴史や文化を学ぶとともに、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習をとおして、本市産業の理解を深め職業観を育てる活動に取り組みます。
- ③学校図書館の活性化に努め、子ども読書の推進を図ります。

①◆ 自主制作による市確認テストの実施	2回
◆ 児童・生徒用新聞の購読	小学校5・6年全学級（週刊子ども新聞） 各中学校2紙（全国紙・地方紙）
②◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施	全小学校の1学年の全児童を対象に実施
◆ 眼鏡のデザイン実習の実施	全中学校の1学年の全生徒を対象に実施
◆ ものづくり博覧会への参加	全中学校の1学年の全生徒を対象に実施
③◆ 学校図書館の活性化	図書の貸出し冊数 年1人30冊

■ 食育の推進

子どもたちの健全な心身の成長のため、食育を教育の基盤として位置づけ、その推進に努めます。

- ①規則正しい食生活は、健康な生活の基本であることを児童生徒、保護者等への理解を深め、朝食摂取率の向上を目指します。
- ②食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育てるため、地域との連携により学校給食畑を全小学校に設置し、活用を図りながら地場産（鯖江産）野菜等の使用率の向上を目指します。

①◆ 朝食摂取率	100%
②◆ 地場産（鯖江産）食材使用率	30%
◆ 地場産給食の日	全小中学校 2回

■ 幼児教育の充実

小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みます。

◆ 幼稚園と小学校の交流事業	各園 10回
◆ 園開放事業「遊びにおいて」の実施	各園 12回

■ 地域の教育力の向上

- ①地域住民が組織的、主体的に地域の小学生を対象に地域の公民館等で合宿通学事業を行い、地域住民と子どもたちが交流し触れ合うことにより、地域の子どもは地域で育てるといふ地域内での意識の醸成や地域の教育力の向上を図ります。
- ②生涯学習人材バンク制度において、様々な知識や技術・特技・経験を身に付けた地域人材の登録を充実し、生涯学習講師・指導者・スタッフとして、また生涯学習のまちづくりの推進者として活躍していただくなど、この制度を有効に活用し生涯学習の推進を図ります。

①◆ 公民館合宿通学事業の実施	10回	500人
◆ 公民館合宿通学事業の地区実行委員会の設置		10地区
②◆ 地域人材バンク通算登録数	110人	10団体

■ 家庭の教育力の向上

地域の親子や子どもを対象とした鯖江市こどもまつりの開催を支援するなど、地域の親子や子ども同士が触れ合い絆を深める機会を提供し、家庭教育力の向上を図ります。

◆ 鯖江市こどもまつりの参加者数	300人
------------------	------

■ 文化財の調査、保存、啓発の推進

- ①古墳群をはじめとする貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるとともに、優れた伝統芸能や技術を継承する市民・団体の文化財指定も進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進します。
- ②市内の神社に奉納されている絵馬や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業を開催します。

①◆ 国・県・市指定および登録文化財数の増加		8箇所
②◆ 各イベントでの目標参加者数	合計	1,700人
・ まちかど歴史浪漫コンサート		300人
・ 絵馬についての企画展示		600人
・ 間部詮勝プロジェクト講演会(3回)		200人
・ 間部詮勝プロジェクト学習会(10回)		300人
・ 古墳見学会、説明会(3回)		300人

■ 文化活動への参加と文化に触れる機会の提供

登録博物館であるまなべの館を広く活用して、市民が、直接文化芸術に触れて、鑑賞・参加・創造することができる機会を提供するとともに、子どもたちが伝統文化に触れる機会の充実を図り、市民の文化意識の高揚と郷土に対する愛着心の醸成に努めます。

◆ まなべの館企画展開催事業	来場者数	5,000人
◆ 子どもたちを対象にした芸術文化体験事業	参加者数	200人
◆ 「子ども文楽」を通じた小学校間の交流促進	交流事業	1回
◆ 市美術展の開催	出品数	450点
	来場者数	16,500人
	アートスタッフボランティア	180人
◆ ふるさとさばえ検定の実施	受験者数	100人

■ 青少年がスポーツに親しむ環境づくりの推進

青少年の心身の健全な発育・発達を願い、生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、地域住民が自ら運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、スポーツクラブ相互の連携・協力を強化するための体制の構築に努めます。また、スポーツ少年団育成については、学校と各種スポーツ団体と連携して一層の加入促進を目指します。

◆ スポーツクラブ会員数	2,100人
◆ スポーツ少年団への加入率	23.5%

■ 市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進

鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室やスポーツイベントの開催を通じて、元気と活力あふれるまちづくりを目指します。また、高齢者・障害者向けのスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員やスポーツ指導者と連携しながら、だれもがスポーツを続けられる社会を推進します。

◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座	15回 600人
◆ ニュースポーツ教室・元気チャレンジ事業	22回 500人

■ 文化の館における市民との協働事業の開催および学校図書館支援センター事業の推進

①最先端の研究や深い思索を行っている講師を招き、「ライブラリーカフェ」や、地元の演奏家などを招いて「カフェコンサート」を開催します。また、これらを「市民と友の会と大学と図書館との協働」という全国的にも例を見ない手法で実施し、市民の文化の拠点とします。

②「学校図書館支援センター」として、対象年齢別に読書支援イベントを実施し、こどもの読書活動を支援します。

①◆ 「ライブラリーカフェ」	12回 400人
◆ 「カフェコンサート」	3回 200人
②◆ こどもの読書支援イベントの実施	
・ 「ブックトーク」	学校の要請 対応率 80%
・ 「こどものつどい」	42回（毎週土曜日） 500人
・ 「本との素敵な出会い」	年長児総数 661人への実施率80%
・ 「絵本とよちよち1・2・3」	12回 150人
・ 「あかちゃんと絵本のひろば」	12回 120組
・ 「図書館司書の日」の実施	学校の要請 対応率 80%

■ 高年大学の活性化

- ①健康長寿および社会貢献（社会参加）を目的として、引き続きカリキュラムに反映させます。
- ②大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、高年大学まちなか授業や課外授業などの「市民公開講座」を開催します。
- ③受講生による学内ボランティア活動をより活発に推進します。また、受講生の社会貢献（社会参加）活動を支援するため、市の生涯学習・スポーツ人材バンクへの登録を促進し、具体的な活動につながるように調整します。
- ④高年大学のIT環境を整え、IT事業を推進します。

①◆ 健康・体育関連授業	45回	2,000人
◆ 社会貢献関連授業	18回	700人
②◆ 公開講座開催	10回	500人
③◆ 人材バンク登録者数		20人
④◆ IT推進研修会の開催	7回	130人
◆ 無線LAN接続申請者		50人